

技術トレーニング動画字幕

第3部- コンテナの前処理とロード

シーン1

コンテナを検査した後に、製品をロードする前に前処理する必要があります。「t」バージョンのコンテナはドライアイス又は低温室を使用して前処理することができます。

低温室を使用し、コンテナをオフにし、そして、製品をロードする少なくとも 1 時間前に、指定された領域またはトラックにコンテナを置いてください。コンテナ内部の前処理を安全に行うために、開いているコンテナのドアを固定してください。

シーン2

また、ドライアイスを使用して、コンテナの前処理することができます。コンテナバンカーの中で均等に分配できるスライスを使用してください。

ペレットを使用する必要がある場合は、必要な量を袋に入れる必要があります、そして、バンカーに入れます。冷蔵製品については、ラップされたドライアイスが通常使用されています。しかし、冷凍出荷と周囲温度が高い場合は、ラップしていないドライアイスを使用します。

ドライアイスをロードした後に、コンテナドアを閉め、そしてコンテナの中に電池を入れてください。コンテナを必要な温度に設定し、そして、少なくとも 1 時間前処理してください。

周囲温度が高い場合、空のコンテナは必要な温度に到達しない可能性があります。コンテナが機能している場合、十分なドライアイスがあれば、ローディングは続行するはずです。また、コンテナの前処理を補助するために、コンテナ内のパレットの中にドライアイスを置くことができますが、ロードする前それを取り抜く必要があります。

シーン3

冷凍出荷ためのコンテナを前処理するときには、バンカーの中にドライアイスをロードし、そしてコンテナ内のパレットの上置いてください。ドライアイスをロードした後に、コンテナドアを閉じ、そして、コンテナを少なくとも 2 時間、必要な設定温度で動作させてください。

シーン4

コンテナは、屋内、または日陰ですばやくロードする必要があります。コンテナドアはできるだけ閉めている状況にしてください。ロードされる前に、確実に製品とパッケージがコンテナ設定温度に設定してください。

RKN と RAP コンテナの場合、貨物はパレットの上に通常ロードされますが、手で製品をロードするなら、空気の流れを許容するようにスペーサの上に箱を配置してください。

シーン 5

冷凍出荷をロードする場合、貨物領域からパレットとドライアイスを取り外してください、そして、バンカーの中にドライアイスの二十パーセントをロードし、残りを貨物の上に箱の中に分配してください。必要に応じて、ドライアイス箱は床に置いてあるスペーサの上に置くことができます。コンテナ内の製品はひもで固定し、そして、コンテナドアを閉じてください。

シーン 6

輸送や保管中に、「t」バージョンのコンテナは、コンテナ設定ポイントの少なくとも摂氏 5 度以上の周囲温度で保管する必要があります。例えば、5 度の設定ポイントがある冷蔵製品においては、コンテナは 10°C以上の周囲温度で維持しなければなりません。また、必要に応じて、高い周囲温度への曝露を制限し、必要なら、温度制御のトラックを使用してください。

総説

このセクションで学んだことを見直すために:

- ロードする前に、コンテナの物理的および機能的なテストを実行します
- ロードの後に、コンテナ温度を必要な範囲内で安定します
- 輸送中に蓄電池電圧と温度を確認します
- コンテナの仕様外の周囲温度に露出する事を制限します